

「ループの中にループを組み込んでみよう2」

◆解答例



◆解説

解答例は、

「5回10歩右に動いた（もしも端に着いたら、跳ね返る）処理を行ったあと、y座標を20変え、1.5秒静止しy座標が0になる処理を2回行う」プログラムをずっとループさせるものになります。

これを実行すると、
ずっとスプライトが歩きながら
ジャンプをするアニメーションが完成します。

このように複数のループを組み合わせることで、アニメーションの幅を広くすることができ、ビジュアルプログラミングでの創作活動の幅を大きくすることができるようになります。